DUAL DRIVE SUBWOOFER

Scepter-SW1

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■放熱を妨げない

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から5cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。

⚠警告

■水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、けがや火災の原因となります。

⚠注意

■設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● この機器は非常に重いので持ち運びは必ず二人以上で行ってください。けがや腰痛の原因となることがあります。

■次のような場所に置かない

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。
また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると、発熱しやけどの原因となることがあります。

⚠注意

■使用上の注意

- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

■電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■点検について

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

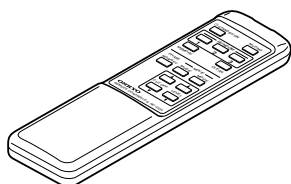
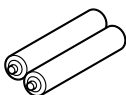
特長

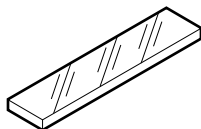
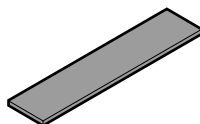
■SUPER(スーパー) J'DRIVE(ドライブ)* 方式採用で重心が低く、伸びきった超低音を再生
■６段階のカットオフ周波数
■MUSIC(ミュージック)／MOVIE(ムービー)のモード切り換えにより音楽再生だけでなく、A／Vシステム用としても最適な効果が得られます
■カットオフ周波数／ 音量レベル／モード／位相の4項目の状態を3通り記憶できるプリセット機能
■リモートコントロールですべての調整が可能

*SUPER J'DRIVE方式とは
スピーカーユニット前面の容積を限界まで小さくし、十分な負荷をかけることにより、低域再生範囲の拡大と歯切れの良さを両立させたJドライブ。スピーカーユニットをお互い反対方向に配置して反作用をキャンセルし、キャビネットの不要な揺れや振動が出ないデュアルドライブ。これらを組み合わせることにより、重心が低く、伸びきった超低音を再生できるようにした新しい方式です。

付属品を確認する

（　）内の数字は個数を表します。

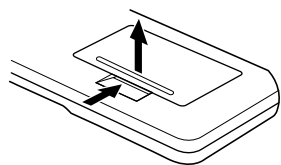
● リモコンRC-432A（1）

● 乾電池（単三型)(2)

● コルクスペーサー（4）

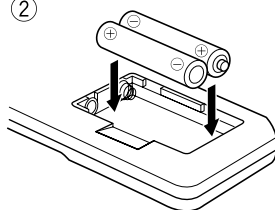
● ガラス（1）

● ゴムシート（1）
（ガラスの下に敷きます）

● 取扱説明書（本書1）
● 保証書（1）
● オンキヨーご相談窓口・
修理窓口のご案内（1）

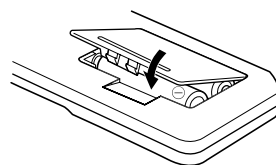
♪音のエチケット
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

準備する

■乾電池を入れる

①

カバーを矢印の方向に押し上げてはずす

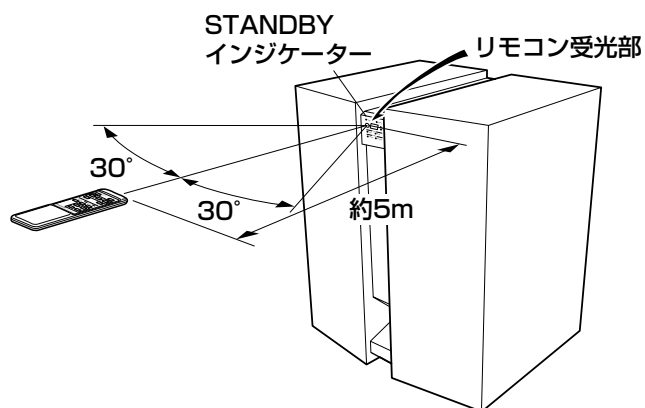
②

中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる

③

カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。

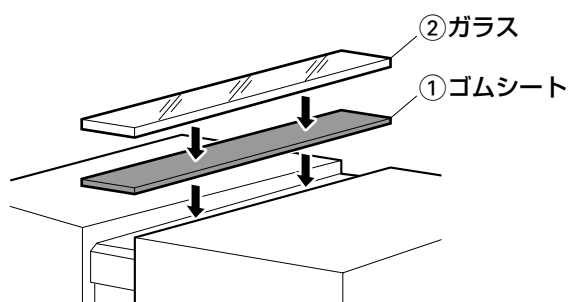
■リモコンを使うには

リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンからの信号を受信するたびに、STANDBYインジケーターが点灯します。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると、正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

■ゴムシートとガラスの取り付けかた

本機にはマイコン取り付け部の保護および防振のためのガラスが付属してます。下記の手順で取り付けてください。

① キャビネット上部のくぼみ部分にゴムシートを敷く。

② ゴムシートの上にガラスを乗せる。
 ●光沢のある面を上にしてください。

ご注意

- ガラスの取り扱いには十分ご注意ください。
- 本機を移動させる際は、安全のため必ずガラスを外してください。

各部の名称と働き

本体

■前面

■背面

ヒートシンク（放熱板）

SPEAKER（スピーカー） LEVEL（レベル） INPUT（インプット）端子

SPEAKER（スピーカー） LEVEL（レベル） OUTPUT（アウトプット）端子

SPEAKER LEVEL
INPUT FROM AMP/RECEIVER
OUTPUT TO SPEAKERS
R L + −
LINE INPUT
L (MONO)
R

LINE（ライン） INPUT（インプット）端子
サラウンド再生機能のついたAVアンプやレシーバーまたはプリアンプと組み合わせるときに接続します。

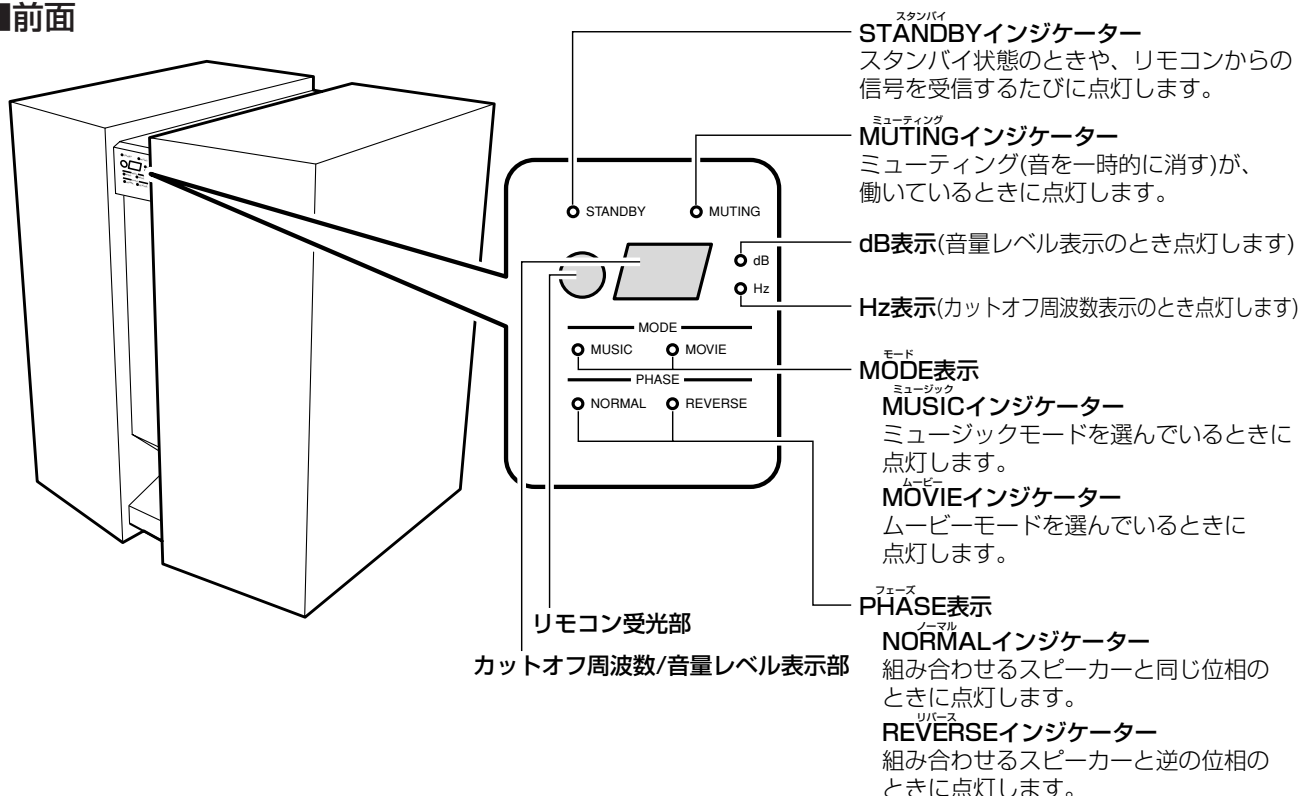
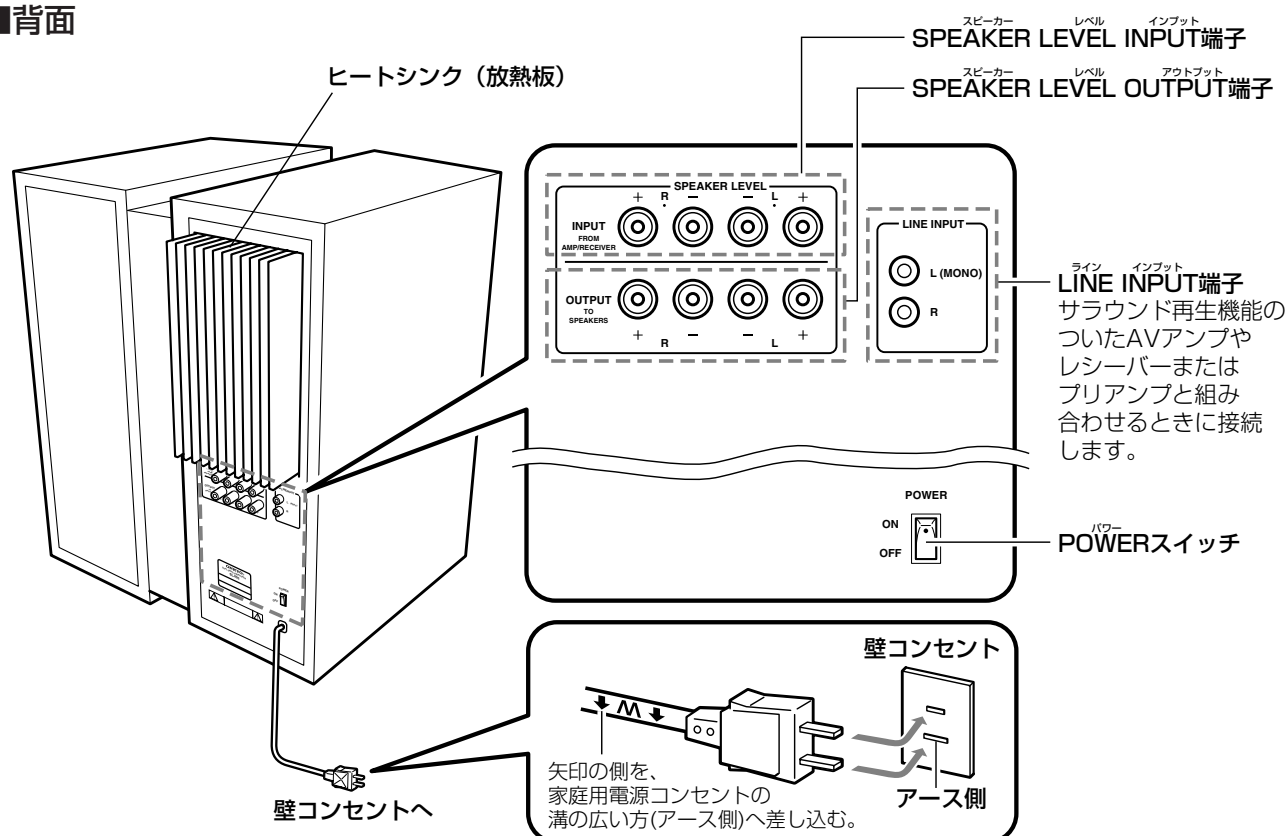
POWER
ON
OFF

POWER（パワー）スイッチ

壁コンセントへ

壁コンセント

矢印の側を、家庭用電源コンセントの溝の広い方(アース側)へ差し込む。

アース側

電源コードはより良い音で聞いていただくために、極性の管理がされています。電源コードの矢印の方（↓ ↓）を家庭用の電源コンセントの溝の広いほうに合わせて差し込んでください。

各部の名称と働き

リモコン

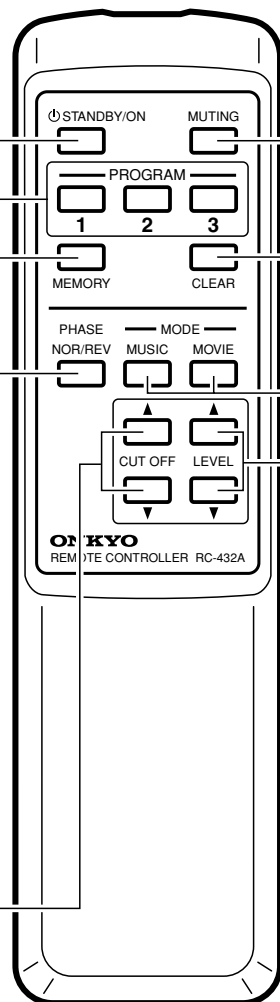
本機はPOWERスイッチ（本体の背面にある主電源スイッチ）以外の操作はすべてリモコンで行います。

STANDBY／ONボタン
電源オン／スタンバイを切り換えます。

PROGRAMボタン
本機はカットオフ周波数、音量レベル、モード、位相の動作状態を3種類記憶し、呼び出すことができます。プログラムの記憶、呼び出しに使用するボタンです。

MEMORYボタン
プログラムを記憶させるときに使うボタンです。PROGRAMボタンと組み合わせて使用します。

PHASE NOR／REVボタン
組み合わせるスピーカーとの位相関係を切り換えるボタンです。正相、逆相と押すたびに切り換わります。
自然でつながりの良い方を選びます。

CUT OFF▲▼ボタン
カットオフ周波数を30、40、50、60、70、80Hzと6段階に切り換えることができます。
それぞれ表示の周波数まで再生します。
組み合わせるスピーカーの再生周波数範囲を参考に選びます。

MUTINGボタン
音を一時的に消します。

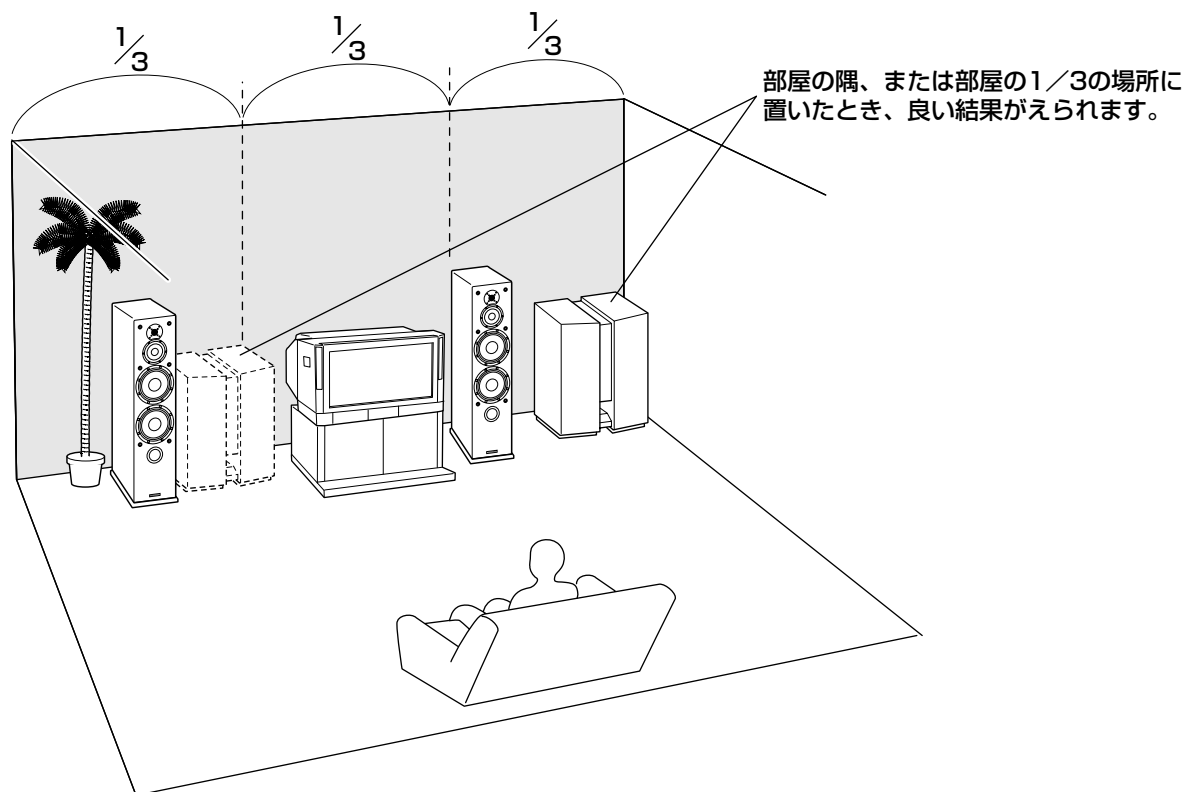
CLEARボタン
記憶しているプログラムを消去するボタンです。PROGRAMボタンと組み合わせて使用します。

MODEボタン
低域の特性を変えます。
MUSICモードでは平坦な特性になるため、音楽を自然な感じで楽しめます。
MOVIEモードでは20Hz付近を数dB持ち上げることにより、映画を楽しむのにふさわしい、包み込まれるような感じが出ます。
もちろん、好みによりMUSIC/MOVIEにこだわらず切り換えてお楽しみいただけます。

LEVEL▲▼ボタン
再生する音の大きさを調整します。
0dBが最大で、－1から－80dBまで1dBステップで調整できます。－∞dBはレベルを下げきった状態を示します。
－20 ～ －10dBの表示のとき一般的に組み合わせるスピーカーとバランスがとれるようになっています。
ただし、ピンコードにより接続されているときは使用するアンプやレシーバーにより、サブウーファー用端子の出力レベルが異なる場合がありますので、－20～－10dBでバランスがとれないことがあります。

設置

本機が再生する超低域は指向性が無く方向感はほとんどありませんので、サブウーファーを部屋のどこに置いても問題はありません。しかし、再生される低音の質や量はサブウーファーの置き場所によって大きく変わります。また、部屋の形状やどの位置で聞くかによっても変わります。
置き場所を決める方法として以下の方法をおすすめします。
- 質の良い低音が入った映画または音楽ソースを再生する。
- 本機を部屋の色々な場所に置いてみる。
- 置き場所により様々な鳴り方をするので、いつも聞く位置でもっともしっかりした低音が再生できる場所を選ぶ。

下図は一般的な設置例です。

■設置上の注意
- 本機はパワーアンプを内蔵しています。背面のアンプ・ヒートシンク（放熱板）の放熱を妨げないよう壁から5cm以上離してセッティングしてください。
- 本機は立てた状態で使用されるように設計されています。寝かせたり、傾けて設置しないでください。
- 一般にカラーテレビ等に使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですから普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、カラーテレビなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により画面への影響が改善されます。
  その後も色むらが残るような場合はスピーカーをテレビから離してください。近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。
- 本機が再生する超低域による振動の影響で、まれにテレビの画像が歪む場合があります。その場合はテレビと本機の距離を離して設置してください。

接続

安全のため全ての接続が終わるまで本機および他の機器の電源は切っておいてください。

■ AV アンプとの組み合わせについて

サラウンド再生機能のついたAVアンプやレシーバーと組み合わせる場合は、必ずサブウーファープリアウト端子（SUBWOOFER PREOUT）から接続用ピンコードで本機に接続してください。スピーカーコードを使って本機を接続した場合、アンプやレシーバーの設定によっては、低域信号がカットされて十分な低域が出ないことがあります。詳しい接続方法はお手持ちのアンプやレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

一般的なシステムに組み合わせる場合

■ サブウーファー（スーパーウーファー）端子のあるアンプから接続する場合

Scepter-SW1（本機リアパネル）

サブウーファー端子のあるアンプ

SPEAKER LEVEL

INPUT FROM AMP/RECEIVER

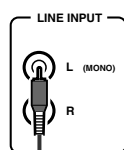
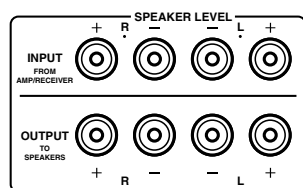
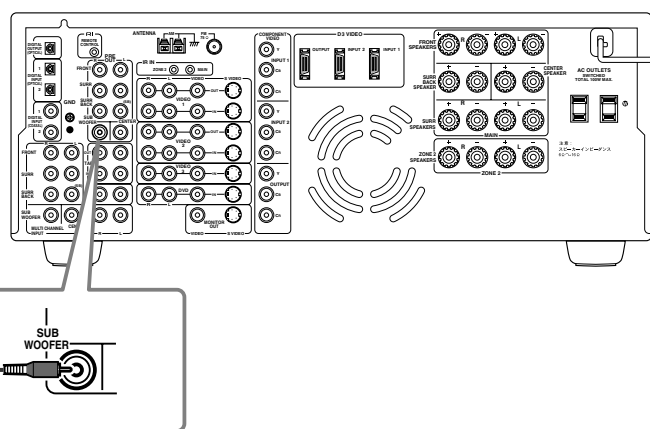
OUTPUT TO SPEAKERS

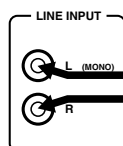
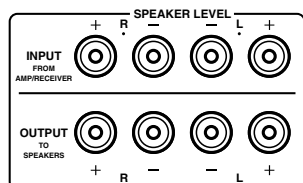
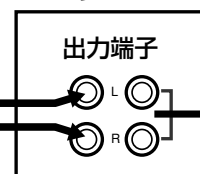
LINE INPUT

L (MONO)

R

SUB WOOFER

（付属しておりません）

ご注意

サブウーファー端子のあるアンプから接続する場合、アンプの出力はモノになっていますので、本機のLINE INPUT端子の「L（MONO）」に接続してください。

ご注意

一般のプリアンプから接続する場合は、LR（左右）とも接続してください。この場合、プリアンプの出力は2系統必要です。

スピーカー端子から接続する場合

右スピーカー

サブウーファー端子のないアンプ

スピーカー端子

スピーカーコードのつなぎかた

左スピーカー

裏

15mm

スピーカーコードのビニールカバーの先をしん線を残して15 mmカットする

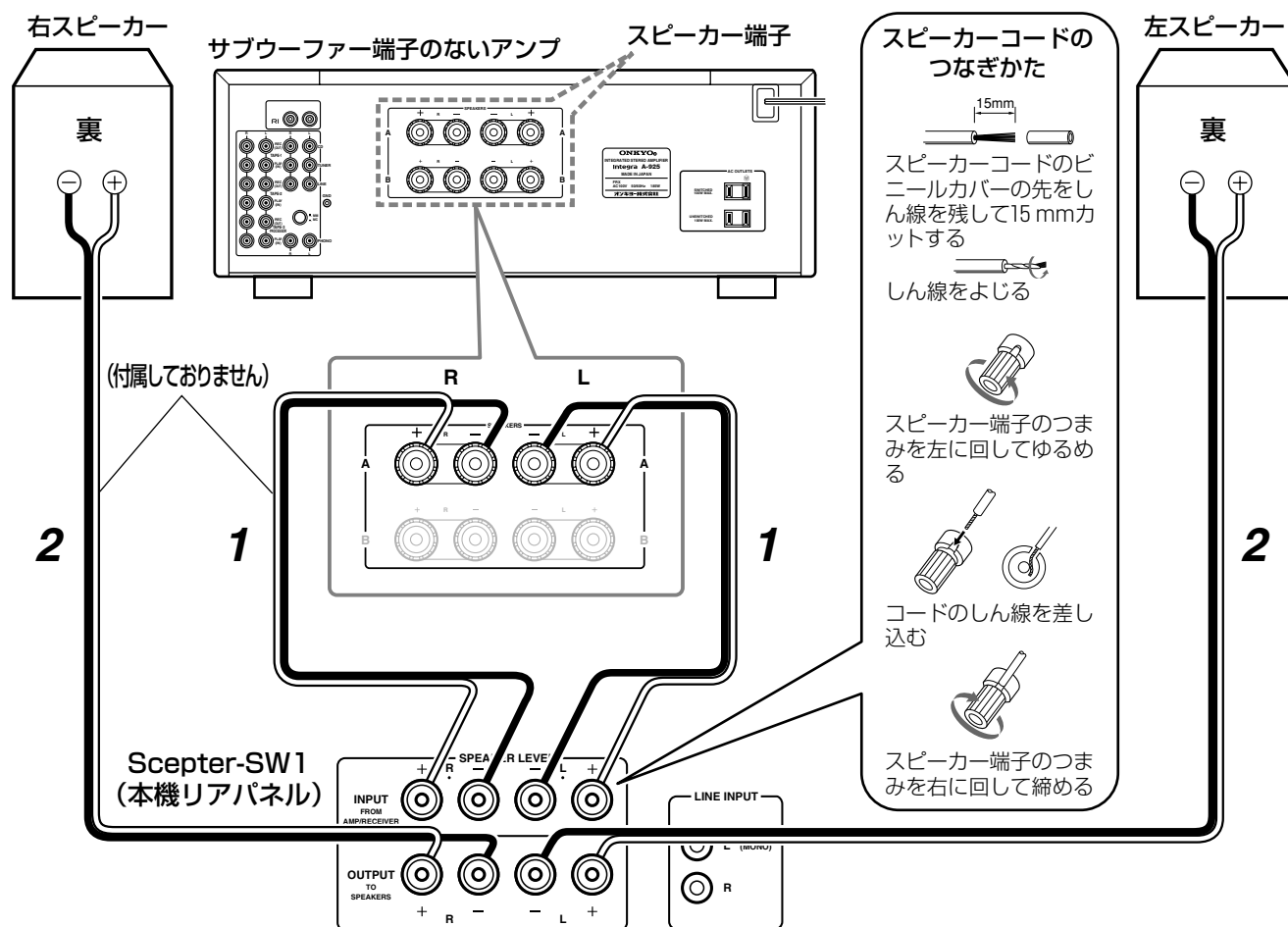
しん線をよじる

（付属しておりません）

スピーカー端子のつまみを左に回してゆるめる

コードのしん線を差し込む

スピーカー端子のつまみを右に回して締める

Scepter-SW1
（本機リアパネル）

1. 市販のスピーカーコードを使用して、本機のSPEAKER（スピーカー） LEVEL（レベル） INPUT（インプット）端子とアンプのスピーカー端子を接続します。

2. 左右のスピーカーは本機のSPEAKER（スピーカー） LEVEL（レベル） OUTPUT（アウトプット）端子に接続します。

ご注意

- スピーカーコードは必ずL（左）、R（右）とも接続してください。また＋/－を間違えないように確実に接続してください。
- 本機のSPEAKER LEVEL OUTPUT端子にスピーカーを接続する場合は、本機のSPEAKER LEVEL INPUT端子に接続するアンプの表示より低いインピーダンスのスピーカーをつなぐと故障の原因となります。
- BTL接続のアンプはご使用にならないでください。アンプ、本機とも故障の原因となります。一般のアンプはBTLではありません。詳しくはご使用になるアンプの取扱説明書をご参照ください。
- スピーカーコードの接続は、しん線部が隣の端子や金属部に触れていないかよく確認してください。ショートしたまま動作させるとアンプの故障の原因となります。

リモコン操作

本機は組み合わせるスピーカーシステムの特性に合わせて、再生する周波数範囲、音量レベル、位相を調整したり、音楽または映画の再生に効果的なモードを付属のリモコンで選ぶことができます。
また、調整した設定内容を3種類登録し呼び出すことができます。

- 本機はPOWERスイッチ（本体の背面にある主電源スイッチ）以外の操作はすべてリモコンで行います。

ご注意 本機の初期設定はカットオフ周波数が80Hzに設定され、安全のため音量は最小にしてあります。そのため、リモコンで音量を上げないと音が出ませんのでご注意ください。

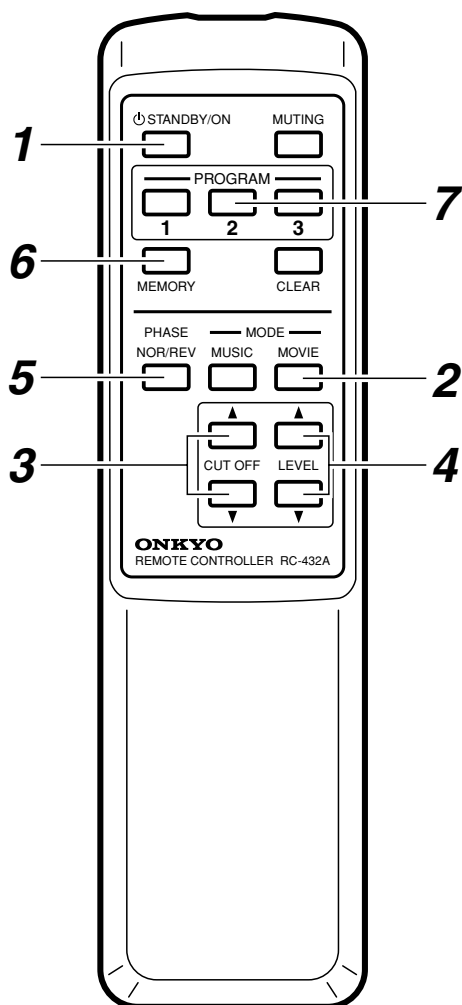
■基本的な操作のしかた

8ページをご覧ください。

■プログラム機能の使いかた

プログラムを登録するには

例: モード（MOVIE）、カットオフ周波数（50Hz）、音量レベル（－15dB）、位相（REVERSE）をプログラム「2」に登録する場合

準備 本機のPOWERスイッチを「ON」にしてください。
STANDBYインジケーターが点灯します。

プログラム保持について

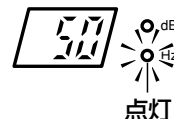
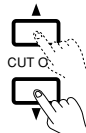
- 登録したプログラム内容は、POWERスイッチを「OFF」にしない限り保持されています。
- およそ2週間以上本機のPOWERスイッチを切った状態にしておくと、プログラム内容は消え、初期設定値（13ページ参照）に戻ります。

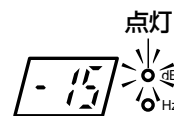
1 STANDBY/ONボタンを押して電源を入れる

STANDBYインジケーターが消灯し、MUTINGインジケーターが点滅します。
- 回路が安定するまで5秒程かかります。その間は操作をすることができません。

2 MOVIEボタンを押し、「MOVIE」を選ぶ

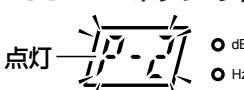
MOVIEインジケーターが点灯します。

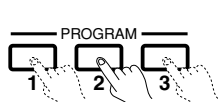
3 CUT OFF▲▼ボタンでカットオフ周波数を「50Hz」に設定する

点灯

4 LEVEL▲▼ボタンで音量レベルを「－15dB」に設定する

5 PHASE NOR/REVボタンで「REVERSE」を選ぶ

REVERSEインジケーターを点灯させます。
- 押すたびにノーマルNORMAL（正相）とREVERSE（逆相）が交互に切り換わります。

6 MEMORYボタンを押す

7 点滅中にPROGRAMボタンの「2」を押す

表示部に「P−2」が点灯し登録が完了します。

プログラムを呼び出すには

呼び出したいPROGRAMボタンを押します。
- 押した番号に登録されていない場合は、表示が数回点滅します。

プログラム内容を確認するには

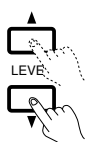
モードと位相の状態は常に表示されていますが、カットオフ周波数と音量レベルは設定中以外は表示されません。
例：プログラム2に登録されている内容のカットオフ周波数と音量レベルを確認する場合

1 PROGRAMボタンの「2」を押す

「P−2」が表示されます。
- 登録されていない場合は、「P−2」が点滅し、もとの表示に戻ります。

2 CUT OFF▲▼ボタンを1回押す

CUT OFF▲または▼ボタンを1回押します。
- 設定されているカットオフ周波数が表示されます。
- 約5秒後にもとの表示「P−2」に戻ります。

3 LEVEL▲▼ボタンを1回押す

LEVEL▲または▼ボタンを1回押します。
- 設定されている音量レベルが表示されます。
- 約5秒後にもとの表示「P−2」に戻ります。

ご注意

手順**2**、**3**の操作中、ボタンを2回押したり、長く押したりするとカットオフ周波数や音量レベルが変わりますが、プログラム内容は変更されません。

プログラム内容を変更するには

例：プログラム2に登録されている内容の音量レベルを「−10dB」に変更する場合

1 変更するPROGRAMボタンを押す

「P−2」が表示されます。

2 LEVEL▲▼ボタンで音量レベルを「−10dB」に設定する

音量レベル設定が終ると、約5秒後に表示が「P−−」に変わります。

3 CLEARボタンを押す

「P−−」表示が約5秒間ゆっくり点滅します。

4 点滅中にPROGRAMボタンの「2」を押す

「P−2」表示が約5秒間ゆっくり点滅します。

5 点滅中に再度CLEARボタンを押す

「P−2」表示が点滅している間に再度CLEARボタンを押します。
表示が「P−−」に切り換わります。

6 MEMORYボタンを押す

「P−−」表示が約5秒間ゆっくり点滅します。

7 点滅中にPROGRAMボタンの「2」を押す

「P−−」表示が点滅している間にPROGRAMボタンの「2」を押します。
表示が「P−2」に切り換わり、内容が変更されます。

プログラム内容を取り消すには

例：プログラム2に登録されている内容を取り消す場合

1 PROGRAMボタンの「2」を押す

「P−2」が表示されます。

2 CLEARボタンを押す

「P−2」表示が約5秒間ゆっくりと点滅します。

3 点滅中に再度PROGRAMボタンの「2」を押す

「P−2」表示が約5秒間ゆっくりと点滅します。

4 点滅中に再度CLEARボタンを押す

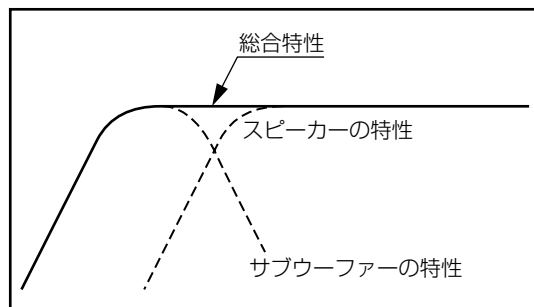
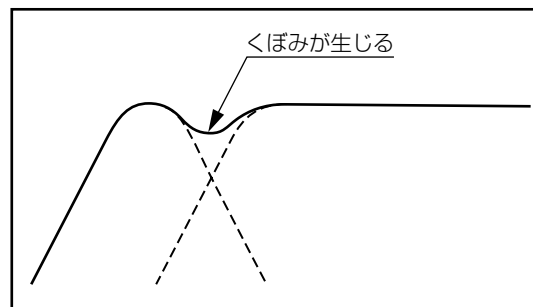
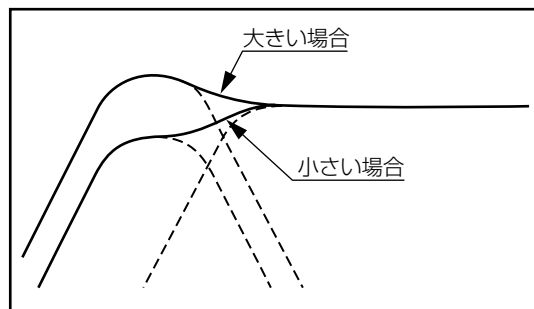
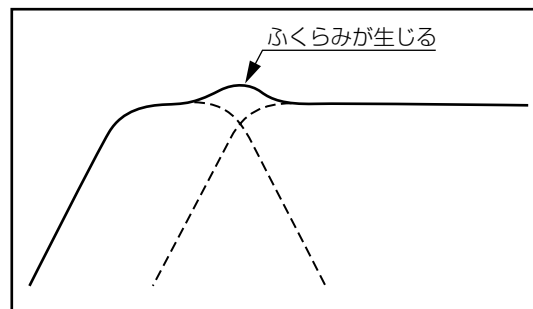
「P−−」が表示され、以下の初期設定になります。

カットオフ周波数............ 80Hz
音量................................ −∞dB
モード............................ MUSIC
位相.......................... NORMAL

調整のしかた

サブウーファーの効果について

お手持ちのスピーカーにサブウーファーを付け加えることで、低音域の再生帯域を広げることができます。
ただし、サブウーファーの再生帯域、音量レベルが適切でない場合は、下図のように総合特性に乱れを生じることがあります。

サブウーファーの再生帯域が適切な場合

サブウーファーの再生帯域がスピーカーの再生帯域と離れている場合

サブウーファーの音量レベルが適切でない場合

サブウーファーの再生帯域がスピーカーの再生帯域に近づいている場合

■カットオフ周波数、音量レベル、位相調整のしかた

サブウーファーを設置する部屋の状況や組み合わせるスピーカーの種類に応じて、カットオフ周波数と音量レベルの調整を行ってください。また、超低音は刺激が少ないためつい音量レベルを上げすぎる可能性があります。少し控えめぐらいがちょうど良いバランスになります。（過大入力防止の点からもおすすめします。）

位相についてもNORMAL（ノーマル）（正相）、REVERSE（リバース）（逆相）を切り換えてみて、自然でつながりの良い方を選んでください。

ご注意

過大入力が入らないようにご注意ください。常識を越える過大入力に対しては故障の原因になりますのでご注意ください。また、接続するアンプによってはスイッチ類を切り換えるとき、ノイズの発生することがあります。このノイズはスピーカーを破損する原因にもなりますので、スイッチ類を操作するときは、ボリュームを一旦絞ってから切り換えるようにしてください。

取り扱い上の注意

■設置について

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房機具の近く、浴室や台所の近くなど、湿気の多いところは避けてください。
- 振動や傾斜のないしっかりとしたところに置いてください。
- 本機にはコルクスペーサー（滑り止め用スペーサー）が付属しています。フローリングの部屋に設置する場合は、このスペーサーを本機と床との間にはさむとキズを防止するとともに、安定して置くことができます。ただし、設置する場所によりスペーサーの跡が残ることがありますのでご注意ください。
- レコードプレーヤーやCDプレーヤーのそばで本機を使用したとき、ハウリングや音飛び現象が起こることがあります。そのときはプレーヤーと本機の距離を離すか、本機の音量レベルを下げてお使いください。

■使用上のご注意

- 本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますので、ご注意ください。
  1. オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
  2. ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音（抜き差し時は必ず本機とアンプの電源を切ってください。）
  3. マイク使用時のハウリング
- アンプのトーンコントロールやグラフィックイコライザー等で低域を極端にブースト（増強）したり、低域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音が発生する場合があります。
  これは、スピーカーユニットの限界を超えた時に発生する「ばた付き」が起こっているためで、故障ではありません。
  しかし、このような状態でご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので、音量レベルを下げてご使用ください。

■セットのお手入れについて

キャビネットは、時々シリコンクロスまたは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるときれいにほこりを取ることができます。

故障？と思ったら

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処置をしても直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いて、「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（Scepter-SW1）」「故障状況」をできるだけ詳しくお買い上げいただいたお店、または当社サービステーションまでご連絡ください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	• 電源プラグの差し込みが不完全。 • リモコンの電池が消耗している。	• 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 • 新しい電池と交換してください。
音が出ない。	• 音量レベルが最小になっている。 • 接続用ピンコードがはずれている。 • 入力スピーカーコードの接続が不完全。 • アンプ(レシーバー)側のスピーカー設定が「サブウーファー無し」になっている。 • 保護回路が働いている。（STANDBYインジケーターが点滅する）	• 適当な音量レベルでご使用ください。 • 接続用ピンコードを正しく接続してください。 • スピーカーコードを正しく接続してください。 • アンプ(レシーバー)側のスピーカー設定を確認してください。 • お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
音が小さい。	• スピーカーコードの接続が間違っている。 • ソースに低音が入っていない。	• スピーカーコードを正しく接続してください。 • 低音の入っているソースを再生してください。
ブーンというハム音が入る。	• ピンコードの差し込みが不完全。 • 外部のリーケージフラックス（テレビ等からの誘導雑音）	• ピンコードをしっかり差し込んでください。 • 雑音源より離してください。
リモコン操作ができない。	• リモコンに電池が入っていない。 • 電池が消耗している。 • リモコンがリモコン受光部に向けられていない。	• 乾電池を正しく入れてください。 • 新しい電池と交換してください。 • リモコン受光部に向けて操作してください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約５秒後に改めて電源プラグを入れてください。

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは
「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(Scepter-SW1)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

仕様

形式	アンプ内蔵密閉型
用途	超低域再生専用
定格周波数範囲	15～80Hz （カットオフ周波数80Hzのとき）
カットオフ周波数	30、40、50、60、70、80Hz （リモコンにて可変）
実用最大出力	130W（5Ω・EIAJ）
入力インピーダンス	スピーカー入力　4.7KΩ ライン入力　12KΩ
入力感度	スピーカー入力　0.4V ライン入力　15mV
使用スピーカー	25cmコーン型（2本）
電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	81W
待機時電力	1.5W
外形寸法(W×H×D)	501 × 597 × 467mm
質量	44.8kg
その他	モード切り換え：MUSIC/MOVIE 位相切り換え：NORMAL/REVERSE プログラム機能：3種類 防磁設計（EIAJ）

※定格および、外観は予告なく変更することがあります。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理のお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはオンキヨーお客様相談窓口・修理窓口のご案内に記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
お客様相談窓口　☎072(831)8111

SN29342932

Printed in Japan G0101-1